



熊本市 感染症発生動向調査 速報

イタリア・ルーマニアを含むヨーロッパ地域で

「麻しん(はしか)」の大規模な流行が起きています。

海外に行く方で、麻しん(はしか)にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に

- 麻しんの接種履歴を親子(母子)健康手帳などで確認しましょう
- 2回接種していない方は、予防接種を検討してください
(麻しんにかかったかどうかや予防接種歴が不明の場合は抗体検査を検討してください)

帰国した後に

- 帰国後2週間程度は健康状態(特に、高熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状)に注意しましょう
- 麻しんの可能性がある場合、受診をする際には必ず事前に医療機関に連絡を行ってください。
また受診の際は感染が広がらないよう、公共交通機関の利用を避けてください。

近年、ヨーロッパ地域において麻しん報告数の増加が確認されていますが、特にイタリアとルーマニアにおける報告数の増加が、ECDC(欧州疾病対策センター)から発表されました(平成29年第32週感染症状況報告より)。

・イタリアの状況・本年8月4日の時点で4,087名の麻しん患者が報告されています(去年は年間861名)。

・ルーマニアの状況・本年8月4日の時点で6,486名の麻しん患者が報告されています(去年は年間1,969名)。

参考文献 厚生労働省より(下記にリンク載せています。)

●RSウイルス感染症が全国で増加中です。手足口病も引き続き警報レベルです。

・手洗い、アルコール製剤などで手指を衛生に保ち、引き続き感染予防を心掛けましょう。

期 間		平成29年 31週		平成29年 32週	
		7/31～8/6		8/7～8/13(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		4	0.16	6	0.24
RSウイルス感染症		16	1.00	16	1.00
咽頭結膜熱(プール熱)		33	2.06	16	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		14	0.88	11	0.69
感染性胃腸炎		63	3.94	35	2.19
水痘(みずぼうそう)		1	0.06	2	0.13
手足口病	警報レベル	111	6.94	47	2.94
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		7	0.44	8	0.50
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		62	3.88	23	1.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		5	0.31	4	0.25
急性出血性結膜炎		1	0.20	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		19	3.80	7	1.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	1	0.20